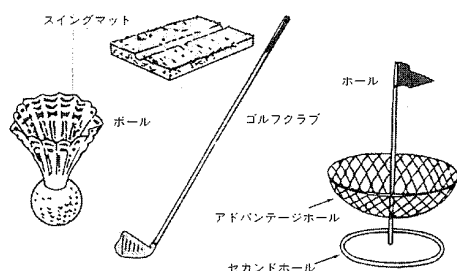


ターゲット・バードゴルフ

バドミントンのシャトルコック（羽根）とゴルフボールを合体させたようなシャトルボールをゴルフクラブで打って、ホールに入れるのを競います。ゴルフと同じく、ホールに入れるまでの打数が少ない方が勝ちとなります。ルールが簡単で、しかも羽根付きボールを使うので滞空時間が長く、直接当たってもけがをせず、初心者でもすぐにできるゲームです。

用具

- ☆ゴルフクラブ（ピッチングウェッジ）
- ☆シャトルボール（羽根付きボール）
- ☆スイングマット（ゴルフ用人工芝）
- ☆パラソル型ネットホール（上部：アドバンテージホール直径110cmのネット張り状、下部：セカンドホール直径86cmの合成樹脂製の輪）

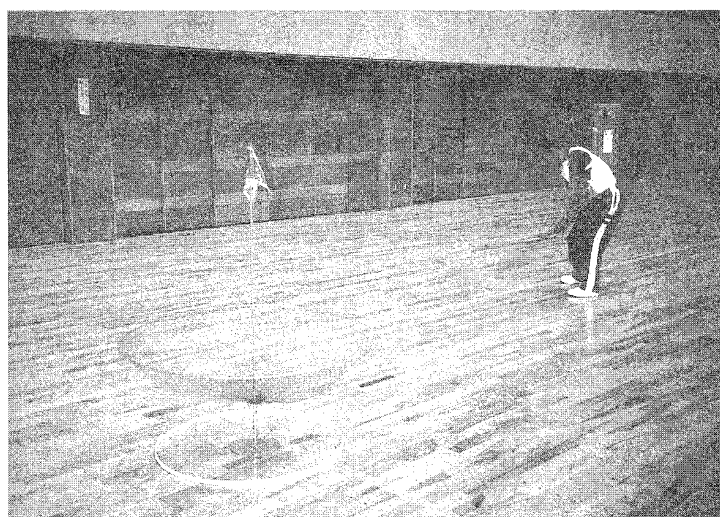
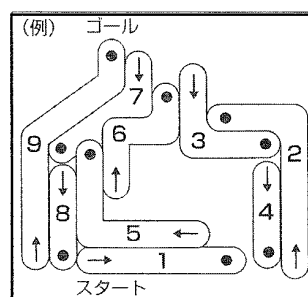


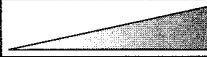
人数

- ☆1組4人以内の個人戦で何組でもできる。

場所（コート）

- ☆コースはゴルフのように地形の起伏、池、林、バンカー、ウォーターハザードなどを加味して設定。公園やグラウンドでも可。
- ☆普通ウェッジコースの場合は、ショートホール（パー2、約16m～22m）、ミドルホール（パー3、約32m～45m）、ロングホール（パー4、約50m～60m）の3種類を組み合わせ、1ラウンドを18ホール、パー54を目安に設定する。ただし、スペースに応じて何ホールでもかまわない。フェアウェイの幅は3m～6mを原則とする。



	
運動量	★★★
技 能	★★★★
準 備	★★★★★

ルール（進め方）

【進め方】

- ① 打順はジャンケンなどで決め、スタートの第1打はスイングマットのティーアップから始める。第2打以降は、ホールから最も遠いボールの人からプレーし、等距離の場合はくじ引きなどで決める。

☆なお、この時は拾い上げたシャトルボールは、15cmの範囲内でホールに近寄らない方向の別の地点に置いて（プレースして）打っても構わない。

- ② 何回かの攻撃でホールインして、そのホールのプレーは終了するが、ホールインとは、ボールの羽根部分を除く球体の部分が、ホールの内側に停止したことをいう。判定はホールの真上から見下ろして行う。

- ③ 2ホール目以降のティーショットは、前のホールスコアが最も少ないプレイヤーから始める。同じスコアの場合は、前のホールのティーショットの順番に従う。

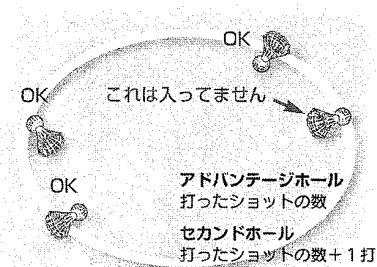
- ④ このようにして、全ホールのプレーをしていき、18ホールの合計打数の少ないプレイヤーが勝ちとなる。

☆なお、ボールの識別や、他のプレイヤーの妨害とならないようにするためにボールを拾い上げるときは、ボール後方直下にマーカーを置いてから行う。動物などにボールを持ち去られたときは、そのボールにあった時点で、別のボールを置いてプレーを続行する。

【ルール】

- ① ボールを正しく打つ意志でクラブを振って空振りした場合1ストロークと数える。ただし、クラブヘッドがボールに触れる前に何かの理由でスイング中止したときは、ストロークしなかったものとする。
- ② 押し出したり、かき寄せたり、すくい上げたときは、反則で2打を付加する。

- ③ 1ストローク中に2回以上ボールに当たったとき、合計2打として数える。
- ④ ボールがフェアウェイから出たときは1打付加し、そのボールを最後にプレーした地点にできるだけ近いOB地点からストロークする。OBのラインが石灰やロープで表示されてるとき、そのライン上はOB。
- ⑤ ホールイン：ボールの羽根を除く球状部分がホールの内側に停止したときのこと。ボールの真上から見下ろして判定を行う。
- ⑥ セカンドホールに入れた場合は、打ったショット数に1打を付加する。



【エチケット】

- ☆プレイヤーは、ストロークを行う前に、近く（クラブが当たる可能性があるところ）に人がいないことを確認してプレーする。また、むやみに素振りしないこと。他の者はプレイヤーに近寄らないようにする。
- ☆プレイヤーがストローク中は、他の者は動いたり話をしたりボールやホールの近くに立ったりしない。
- ☆プレイヤーは、前方の者がボールに届く範囲外に進むまでプレーをしてはいけない。
- ☆プレイヤーはホールイン後、速やかにそのホールから離れること。
- ☆使用するボールに自分の印を付けておき、スタート前に同伴プレイヤーと各自のボールを確認しておく。